

認知症医療センターには、一般市民、専門職の方々へ認知症に関する情報を発信し、認知症の普及・啓発を促進するという重要な役割があります。センター便りとして定期的に情報を発信していきます

センターの活動報告(10月・11月)

■ 専門医療相談などの統計(新規件数)

専門医療相談	10月	11月
外来受診相談	5件	5件
入院相談	4件	1件
その他	0件	0件
合計	9件	6件

鑑別診断	10月	11月
外来	4件	2件
入院	2件	1件
受診・入院予約	1件	2件
合計	7件	5件

専門医療相談以外	10月	11月
診断後支援等	0件	0件
自宅訪問	1件	1件
医療機関訪問	0件	0件
関係機関訪問	1件	0件
出前講座	1件	2件
合計	3件	件

鑑別診断後分類	10月	11月
アルツハイマー型認知症	4件	3件
脳血管性認知症	0件	0件
レビー小体型認知症	0件	0件
前頭側頭型認知症	0件	0件
その他	2件	0件
合計	6件	3件

6

■ 第1回高山病院認知症地域連携協議会を開催いたしました

11月16日(木)午後6時より、ユメニティのおがたにおいて第1回高山病院地域連携協議会を開催致しました。

当協議会は、県をはじめ直轄地域の行政機関、専門職団体、医療機関、地域住民等の代表と当院職員で委員を構成し、当日は、委員43名、オブザーバー6名計49名の方にご参加いただきました。

冒頭の挨拶で、当院高山院長が協議会発足の目的などの趣旨説明を行い、つづいて事務局から協議会規則(案)と、今後、専門部会としてアウトリーチ検討部会や身寄りがいない認知症の人のサポート検討部会などの設置を予定であることを提案し、審議しました。委員から警察署の担当課にも委員として参加してもらえるよう要請して欲しいという意見があり、今後、事務局から働きかけることを附帯事項とすることとし、規則案は満場一致で可決されました。

その後、事務局から活動報告と来年度の活動予定の説明があり、それをふまえて今後の協議会運営などについて意見交換を行いました。

委員からは、直轄地区には認知症初期集中支援チームがないため行政の方でも検討をお願いしたいという意見があり、直方市から現在直轄地域のチームを飯塚市のセンターに委託しているが、今後の委託先を二市二町で検討中であるとの回答がありました。また、認知症の人のサポートについて、大牟田市での徘徊ネットワークの取り組みな



どを参考にしてはどうか。ケアマネジャーが関わっているケースで、認知症が疑われるが本人が受診を拒むため早期受診に繋がらないケースが多く、精神科医による往診などがあれば助かる。専門職が関わったケースの中で上手くいった事例などについて情報共有を進めてはどうかなどの沢山のご意見をいただきました。

最後に事務局から、来年度は、6月と12月の年2回開催予定で、開催日時や場所はアンケートを実施した上で決定することを説明し、閉会いたしました。

■ 出前講座の報告

◆ 第5回

(日時) 10月6日(金) 19:40~
(会場) 北九州市立大学
(テーマ) 「認知症医療センターのご紹介」
(参加者) 14名
(概要)

北九州市立大学地域創生学群の学生さんに私(金蔵)が担当している講座「保健医療サービス」の一コマを使い、「認知症について」「認知症医療センターの役割」についてお話ししました。当然のことかもしれませんが、センターの存在を知る学生さんはおらず、受講後のアンケートでは、「センターのことを初めて知った」「認知症の人は今後どんどん増えるので、センターはとても大切な役割を担っている」「私の祖父母が認知症にならないよう、またちょっと気になることがあったら相談したい」などの意見や感想が寄せられました。あらためて次世代を担う若い人たちにも広くアピールしていくことの必要性を感じました。



◆ 第6回

(日時) 10月15日(日) 13:00~
(会場) 宮若市山口コミュニティセンター
(テーマ) 「認知症の最新情報」
(参加者) 市民 22名
(概要)

宮若市在宅介護支援センターからのご紹介で、山口いきいきサロンで1時間ほどお話ししました。はじめに認知症の危険因子は「加齢」で、高齢化が進んでいくと必然的に認知症の人が増えていくこと、特に直鞍地区は県内でも3番目に高齢化率が高い地域で、その傾向が顕著になること。もはや他人事ではなく、我が事としてとらえ、まずは認知症を理解することが必要であることを強調し、認知症の基礎知識を解説いたしました。認知症について関心が高く、みなさん熱心に聞いておられました。最後に予防が大切であることをお伝えしたところ、2月にそれをテーマに出前講座をお願いしたいというリクエストをいただきました。



◆ 第7回

(日時) 11月14日(火) 10:00~
(会場) 宮若市若宮コミュニティセンター ハートフル
(テーマ) 「認知症の予防」～予防のために大切なこと～
(参加者) 25名
(概要)

以前、「金丸若生会役員班長会議」でお話したところ、「若生会で認知症予防をテーマに話して欲しい」というリクエストがあり、今回は初めて当院の松永管理栄養士と一緒に出席してきました。

はじめに私(金蔵)が認知症の12の危険因子を解説し、生活習慣病になると認知症のリスクが高くなること、また、予防には日頃から適度の運動と人と関わることや栄養管理が重要であることを説明しました。

続いて、松永管理栄養士が「食事からできる認知症予防」と題して、バランスの良い食事を心がけることや塩分の摂りすぎには注意が必要なこと。そのための工夫の仕方や、予防に効果的な食べ物の種類などを解説しました。彼女は人前で話すのは初めてで、緊張しながら解説している姿を参加者の方々は、温かな眼差しで見守っていただきながら熱心に聞き入っておられました。



◆ 第8回

(日時) 11月26日(日) 13:30～
(会場) 宮若市ハートフル若宮
(テーマ) 「認知症の最新情報について」
(参加者) 16名
(概要)



宮若市在宅介護支援センターからのご紹介で、金丸地区の住民の方々にテーマについてお話をしました。

直鞍地区の高齢化率の現状やアルツハイマー型認知症と新薬(レカネマブ)について説明し、認知症医療センターの役割を簡単に紹介しました。

質疑応答では、「アミロイドPETはどの病院で受けられるのか」「センターに相談した場合や今後あらためて出前講座を頼んだ時の費用が知りたい」などのご質問や、「いつかは治る薬が出来るかと未来を信じたい」「相談できる場所があるのを知って安心した」などの意見がありました。終了後、「身内のことで」とご相談もあり、地域に出向いて住民の方のご相談に応じていけるような活動が必要だとあらためて感じました。



【認知症啓発のための 第1回市民向け&専門職向けセミナー開催のお知らせ】

【開催日時】 令和6年3月16日(土) 13:00～

【会場】 ユメニティのおがた 小ホール

【メインテーマ】

認知症になっても住み慣れた街で安心して暮らし続けていくために必要なこととは
～重症化を防ぐために～

【プログラム】

1. 記念講演

「認知症の人が見ている世界」～認知症の人への関わり方の基本を学ぶ～

講師 株式会社 Re 学 代表取締役 川畑 智 先生

2. シンポジウム「認知症になっても住み慣れた街で暮らし続けていくために必要なこととは」～重症化を防ぐために～

シンポジスト

認知症サポート医の立場から: みずほ内科・レディースクリニック 院長 輪田 順一先生

ケアマネジャーの立場から: きんもくせいケアプランサービス管理者 豊田 裕二さん

家族の立場から 認知症の人と家族の会 代表 宗廣 壽美子さん

(座長) 医療法人福翠会高山病院 院長 高山 克彦

(コメンテーター) 株式会社 Re 学 代表取締役 川畑 智 先生

【参加申し込み・お問い合わせ先】

当院のホームページをご覧ください
か下記の認知症医療センター専用電話へ直接お申込みください

【編集・発行】

医療法人 福翠会 高山病院 福岡県認知症医療センター

〒822-0007 福岡県直方市下境 3910-50

TEL 0949-23-0520(専用電話) FAX 0949-24-0838

E-Mail takayamaninchis@gmail.com URL <https://nogata-fukusuikai.jp/>